



華やかな衣装を着て元気いっぱいのパフォーマンスする選手たち―名古屋・笠寺の日本ガイシホールで

軽快にパフォーマンス

中部チアリーディング選手権 40チーム競う

中部チアリーディング選手権大会（中日新聞社など後援）が十二日、名古屋・笠寺の日本ガイシホールで開かれた。愛知、岐阜両県などの小学生から社会人まで四十チーム五百人が表現力や技を競った。

各チームは、新型コロナウィルス対策のため声を出

さず、事前録音した掛け声「コール」や軽快な曲に合わせて演技。複数人で組み体操のように、人を乗せたり飛ばしたりする「スタンプ」や、キレの良いダンスなどを笑顔で披露した。

出場した愛知淑徳大三年の三島なつきさん（三〇）は「三年生で最後の中部大会

になるので楽しみだった。少し悔いは残るけど、自分たちらしい演技を見せられた」と手応えを語った。（山本拓海）

◇各部門の優勝チーム

【自由演技競技DIV1】中学一宮チアリーディングクラブ▽高校 愛工大名電高▽大学 愛知淑徳大▽社会人 中部チアリーディングクラブ▽総合優勝 愛工大名電高【自由演技競技DIV2】中京大中京高A【チアリーディングスピリッツ演技競技】愛知学院大

2022年6月14日（火）中日新聞 朝刊
この記事は中日新聞社の承諾を得て転載しています。